

平成28年度「基礎・基本」定着状況調査概要

今年6月7日（火）に広島県「基礎・基本」定着状況調査が実施されました。
その目的等、調査の概要と本町における調査結果の概要をお知らせいたします。

（１）調査について

(1)	調査目的	◎基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力・表現力などの状況を把握する。 ◎児童生徒の生活や学習に関する意識や実態等を把握することを通して、各学校が自校の課題を明確にし、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
(2)	実施日	平成28年6月7日（火） ※実技による調査（英語）は5月11日（水）～6月17日（金）の間で各学校が定めた日程で実施
(3)	対象校	町内全小中学校
(4)	調査対象	小学校・5年生（児童52名） 中学校・2年生（生徒65名）
(5)	調査内容	◎学習指導要領に示されている目標及び内容に基づいた ・教科で身につけておくべき基礎的・基本的な知識等……タイプⅠ ・教科で学習した知識・技能を活用する力等……タイプⅡ ＜小学校＞ 国語・算数・理科 ＜中学校＞ 国語・数学・理科・英語 ◎児童生徒の生活と学習に関する意識・実態 ＜生活＞ 「毎日朝食を食べています」「将来の夢や目標をもっています」等 ＜学習＞ 「授業では、解決しようとする課題について、たぶんこうではないか、こうすればできるのではないかと予想しています」「ふだん、家では1日何時間くらい勉強していますか」等
(6)	各教科の領域	小学校国語・・・「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 小学校算数・・・「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」 小学校理科・・・「物質」「I初級-」「生命」「地球」 中学校国語・・・「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 中学校数学・・・「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」 中学校理科・・・「物理」「化学」「生物」「地学」 中学校英語・・・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」

（２）結果一覧

＜小学校＞

国語	全体通過率	タイプ		聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
		タイプⅠ	タイプⅡ				
町平均通過率	72.3	76.3	46.8	84.0	82.2	60.3	76.5
県平均通過率	63.7	68.0	36.7	80.0	66.6	55.8	68.6
差	8.6	8.3	10.1	4.0	15.6	4.5	7.9
算数	全体通過率	タイプ		数と計算	量と測定	図形	数量関係
		タイプⅠ	タイプⅡ				
町平均通過率	76.3	81.9	58.5	91.8	77.9	70.5	72.1
県平均通過率	69.4	74.9	52.0	85.3	70.2	62.4	66.4
差	6.9	7.0	6.5	6.5	7.7	8.1	5.7
理科	全体通過率	タイプ		物質	I初級-	生命	地球
		タイプⅠ	タイプⅡ				
町平均通過率	68.9	76.0	55.8	61.2	67.7	79.8	69.2
県平均通過率	60.6	68.1	46.7	59.3	54.6	68.2	61.8
差	8.3	7.9	9.1	1.9	13.1	11.6	7.4

<中学校>

国語	全体通過率		聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特長に関する事項
	タイプⅠ	タイプⅡ				
町平均通過率	74.4	76.0	90.8	72.3	65.6	77.4
県平均通過率	69.7	71.8	87.9	58.7	62.7	75.6
差	4.7	4.2	2.9	13.6	2.9	1.8
数学	全体通過率		数と式	図形	関数	資料の活用
	タイプⅠ	タイプⅡ				
町平均通過率	68.7	70.6	70.5	72.8	78.5	60.0
県平均通過率	66.8	69.6	69.6	67.9	77.8	64.0
差	1.9	1.0	0.9	4.9	0.7	▲4.0
理科	全体通過率		物理	化学	生物	地学
	タイプⅠ	タイプⅡ				
町平均通過率	62.4	68.5	56.3	52.6	74.2	68.6
県平均通過率	51.8	54.4	49.8	44.1	57.4	57.4
差	10.6	14.1	6.5	8.5	16.8	11.2
英語	全体通過率		聞くこと	読むこと	書くこと	話すこと
	タイプⅠ	タイプⅡ				
町平均通過率	73.0	76.6	78.4	74.7	70.8	83.1
県平均通過率	69.6	72.6	71.2	74.9	68.3	77.3
差	3.4	4.0	7.2	▲0.2	2.5	5.8

(3) 結果概説

<教科>

- ・ 教科においては、全ての教科において平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的事項については概ね定着しているといえる。
- ・ 領域別に県と比較すると、中学校数学「資料の活用」、中学校英語「読むこと」において、県の平均通過率を下回っている。

<生活・学習>

○小学校

- ・ 生活習慣、学習習慣・学習意欲に係る質問の12問中5問において県を下回った。
- ・ 学習動機・意欲においては、内発的意欲が県を大きく上回っている。
- ・ 「課題発見・解決学習」に係る質問では、15問中4問が県平均を下回った。
- ・ 地域等の行事への参加が県を大きく上回り、「学校や社会のルールを守っている」という質問への肯定的回答は100ポイントであった。
- ・ 読書活動については、全ての質問において県平均を上回った。
- ・ 自己実現力・自己効力感については、5問中4問で県平均を下回り、特に「自分のよさが認められていると思う」という質問は県を10.9ポイント下回っている。
- ・ 「テレビ・ゲーム」時間は、平日は県よりやや少ない傾向にあるが、休日はやや多い傾向にある。
- ・ 家庭学習時間は、平日、休日共に30分から2時間以内と回答した児童が多い。
- ・ 読書は、冊数、時間共に県平均より多い傾向にあり、「1ヶ月に6冊以上読む」児童が県より25.3ポイント上回っている。

○中学校

- ・ 生活習慣、学習習慣・学習意欲に係る質問では、「毎朝朝食を食べる」という質問がわずかに県平均を下回っている。そのほかの質問は県平均を上回った。
- ・ 学習動機・意欲においては、内発的意欲が県を大きく上回っている。
- ・ 「課題発見・解決学習」に係る質問では、15問中3問が県平均を下回った。
- ・ 社会の出来事への関心は県を大きく上回り、特に地域等の行事への参加は県比33.7ポイントと大きく上回っている。また、外国人とのコミュニケーションに対する意欲も高い。

- 読書活動については、全ての質問において県平均を上回った。
- 自己実現力・自己効力感については、「夢の実現」「周りから認められている」についての肯定的回答がわずかに県平均を下回った。
- 平日、休日共に「テレビ・ゲーム」時間は県より少ない傾向にあり、家庭学習時間はやや多い傾向にある。
- 読書は、冊数、時間共に県平均より多い傾向にあり、「1ヶ月に6冊以上読む」生徒が県より16.5ポイント上回っている。

<今後に向けて>

○今回明らかになった課題について、各学校において児童生徒の誤答分析を通して、つまづきの現状を的確に把握し、授業改善に活かす。特に、基礎的な事項の確実な定着と、課題解決の課程を大切にした学習展開の工夫に向けた取組を一層推進する。